

令和6年度決算の概況【ガス事業会計】

1 業務実績等

①託送供給量は、家庭用、商業用が増加しましたが、工業用が減少したことから、全体としては前年比0.8%の減少となりました。

	R6 A	R5 B	増減(A-B) 比率(A/B)	備 考
受入ガス量(千m3)	121,585	121,618	△ 33 100.0%	
一日平均(千m3)	333	332	1 100.2%	
① 託送供給量(千m3)	125,090	126,136	△ 1,045 99.2%	
一日平均(千m3)	343	345	△ 2 99.4%	
託送供給件数(千件)	103	102	1 100.7%	
@供給単価(円/m3) (託送供給収益/託送供給量)	25.8	25.7	0.1 100.4%	
@供給原価(円/m3) (@維持管理費+@資本費)/託送供給量	24.5	24.2	0.3 101.4%	
うち@維持管理費(円/m3) (維持管理経費/託送供給量)	16.2	16.0	0.2 101.4%	
うち@資本費(円/m3) ([減価償却費等+利息-長前]/託送供給量)	8.3	8.2	0.1 101.5%	

令和6年度に実施した主な事業(税込)

- ・導管のループ化(皇子が丘二丁目、南郷一丁目)(R6事業費:213百万円)
- ・供給申請に伴うガス導管整備等(R6事業費:256百万円)
- ・耐震性ガス導管網整備事業(R6事業費:127百万円)
- ・経年管改良事業(アスファルトジュート巻鋼管改良他)(R6事業費:232百万円)
- ・大津市ガス特定運営事業等に係る附帯業務費
(ガス導管の緊急保安業務等に要する経費)(R6事業費:535百万円)

令和6年度決算の概況【ガス事業会計】

〔単位:百万円〕

2 比較損益計算書

減収減益

①売上総利益は、託送供給収益の減少により前年比18百万円減の3,229百万円となりました。

②附帯事業収益及び費用はほぼ収支均衡しており、総営業利益は144百万円となりました。

③託送供給収益が減少したことなどから、当年度純利益は減少しました。

①

②

③

	R6 A	R5 B	増減額 A-B	備 考
ガス事業売上高	3,230	3,248	△ 18	
ガス売上	1	1	0	LPG売上
託送供給収益	3,229	3,247	△ 18	
営業費用のうち売上原価	1	1	0	
売上原価	1	1	0	LPG売上原価
① 売上総利益	3,229	3,247	△ 18	
営業費用	3,100	3,113	△ 13	
供給販売及び一般管理費	3,100	3,113	△ 13	
維持管理費	1,907	1,920	△ 13	
減価償却費	1,064	1,047	17	
固定資産除却費	129	146	△ 17	
営業利益(損失は△)	129	134	△ 5	
営業雑収益	443	448	△ 5	
受注工事収益	442	448	△ 6	
その他	1	0	1	
営業雑費用	434	432	2	
受注工事費用	434	432	2	
営業総利益	138	150	△ 12	
附帯事業収益	159	162	△ 3	
特定事業収益	159	162	△ 3	ガス料金収受等に係る収益
附帯事業費用	153	155	△ 2	
特定事業費用	153	155	△ 2	ガス料金収受等に係る費用
② 総営業利益	144	157	△ 13	
営業外収益	114	131	△ 17	
受取利息	50	31	19	
他会計負担金	5	4	1	児童手当繰入金
長期前受金戻入	33	63	△ 30	
雑収益	26	33	△ 7	
営業外費用	21	21	0	
雑支出	21	21	0	不用品売却原価
経常利益(損失は△)	237	267	△ 30	
特別利益	0	0	0	
特別損失	0	0	0	
③ 当年度純利益(損失は△)	237	267	△ 30	
前年度繰越利益剰余金 (その他未処分利益剰余金変動額)	0	0	0	
当年度未処分利益(未処理欠損は△)	237	267	△ 30	

令和6年度決算の概況【ガス事業会計】

〔単位：百万円〕

3 比較貸借対照表

- ①自己資本比率は、無借金状態であることから依然高い水準となっています。
 ②流動比率は前年度より減少しましたが、高い水準を維持しています。
 ③事業収益対企業債残高比率は、平成27年度より完全無借金となったことから、算定不能となっています。

	R6 A	R5 B	増減額 A-B	備 考
資産の部				
固定資産	19,108	19,049	59	
有形固定資産	11,415	11,337	78	
帳簿価額	53,458	52,467	991	供給設備 +970、業務設備 +21
償却累計	△ 42,136	△ 41,198	△ 938	
建設仮勘定	93	68	25	
無形固定資産	45	64	△ 19	
投資その他の資産	7,648	7,648	0	
流動資産	13,140	12,634	506	
現金預金	11,839	11,343	496	
売掛・未収金	827	835	△ 8	
有価証券	400	400	0	満期保有目的有価証券
貯蔵品等	74	56	18	
資産合計額	32,248	31,683	565	
負債の部				
固定負債	594	659	△ 65	
引当金	594	659	△ 65	退職給付引当金の減 △65
流動負債	2,378	2,029	349	
買掛・未払金・未払費用	638	565	73	その他営業未払金(退職給付引当金の取崩等)の増 +106
前受金	236	203	33	
引当金	46	44	2	
預り金ほか	1,458	1,217	241	託送供給量の増加(R7.3工業用)による預り金の増 +237
繰延収益	364	319	45	
長期前受金	503	431	72	
収益化累計	△ 139	△ 112	△ 27	
負債合計額	3,336	3,007	329	
資本の部				
資本金	25,675	25,409	266	
資本金	25,675	25,409	266	前年度利益処分 63 建設改良積立取崩 204
剰余金	3,237	3,267	△ 30	
利益剰余金	3,237	3,267	△ 30	
積立金	3,000	3,000	0	災害対策積立
当年度未処分利益	237	267	△ 30	
資本合計額	28,912	28,676	236	
負債・資本合計額	32,248	31,683	565	

	指 標	R6	R5	増減	指標の説明
①	自己資本比率	89.7%	90.5%	-0.8%	総資本のうち自己資本の占める割合を示し、比率は高いほど経営の安定性は大きい。
②	流 動 比 率	552.6%	622.7%	-70.1%	短期の支払い能力を示す指標。比率は100%以上が望ましい。
③	事業収益対企業債残高比率			無借金につき算定できない	借金が収入の規模に見合っているのかを図る指標。過度に高い場合は将来世代の負担が高まっている可能性があります。

令和6年度決算の概況【ガス事業会計】

〔単位：百万円〕

4 剰余金の処分

- ①繰延収益相当額を自己資本金に組み入れます。
- ②建設改良積立金を積み立てます。

当年度末未処分利益剰余金		237
利益剰余金処分数額		
①	条例第4条の5による処分数額	△ 237
	自己資本金組入（繰延収益相当額）	△ 33
	建設改良積立金の積立	△ 204
処分後残高（繰越利益剰余金）		0

5 キャッシュ・フロー計算書

☆業務C/F(1,452百万円)から、投資C/F(956百万円)を差し引いた金額がプラス(+496百万円)となっており、本業で投資を賄える状態です。

	R6 A	R5 B	増減額 A－B	備考
1 業務活動によるキャッシュ・フロー	1,452	1,044	408	
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 956	△ 831	△ 125	
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0	0	
資金増加額（又は減少額）	496	213	283	
資金期首残高	11,343	11,130	213	
資金期末残高	11,839	11,343	496	

【総括】

令和6年度のガス事業は、安定供給や保安の確保を図るため、「大津市ガス事業中長期経営計画(経営戦略)」に基づき、ガスの安定供給のためのガス導管網の整備や宅地開発等による供給申請に伴う導管整備などの整備事業、耐震性ガス導管整備や経年管布設替等の改良事業、需要家設備の安全点検などの保安対策に取り組みました。また、ガス事業法の規定に基づき、4月から託送供給料金の値下げを行いました。

経営面については、主に値下げなどの影響により、託送供給収益も減少し、昨年度を下回る当年度純利益となりました。

このような中、今後も効率的な業務執行と経費の節減を図りながら、安全・安心にガスを供給するため、本年度に改訂した中長期経営計画(経営戦略)に基づき、計画的な導管整備や災害対策、ガス施設の安全管理、大津市ガス特定運営事業等に係るモニタリングに引き続き取り組んでいきます。